Shirayuri

仙台白百合女子大学後援会報

No.7
2018.3

仙台白百合女子大学後援会

Contents

2　学長挨拶
　　後援会会長挨拶
3　部会活動報告
4・5　事業活動報告・課外活動支援報告
6　2018(平成30)年度　行事予定
　　2017(平成29)年度　理事名簿 など
　　編集後記

学長挨拶

仙台白百合女子大学 学長　**矢口　洋生**

2017年度から学長の任をまかされて1年が経過しました。毎日のように新たな案件が浮上し、未処理の文書を平積みしておくとそれを処理する前に次の文書が到着します。気がつくと、デスクに複数の柱が乱立してしまいます。週末にはそれらを片付けます。

18歳人口が激減し、大学をめぐる状況は悪化の一途です。若い人が減っているのに、大学が多いのです。学生は交通の便がいい都心部の、大きな、共学の総合大学に集まる傾向があります。高校生も、そのような大学を好むようです。

わたし自身の体験と観察から、そうである必要はないと主張します。大学院へ行きたいのなら、確かに都心部の総合大学がいいでしょう。しかし学部生、つまり高校卒業後の大学4年間は、落ち着いた小さな私立大学がベターなのです。女子大学ならさらにいい。そこでこそ女性のリーダーが育つからです。

人間が日常的に接し、意味のある人間関係を築ける人数の平均は約150人と言われます。個人差はあっても、この数字は原始時代から現在に至るまであまり変わっていません。したがって大都会の3万人の大学に入学してもあまり意味はありません。かえって意味のある人間関係ではなく、薄っぺらで拡散した人間関係しか築けないかもしれません。JR新宿駅では1日に300万人以上の人が通り過ぎます。でも、その雑踏の中で本当に意味のある人間関係を築くことはできません。むしろ、究極の孤独を感じることでしょう。

人間関係を構築する条件は、日常的に見知った関係になって信頼感を得ることです。本大学では、教員・職員・学生とがお互いを認識できる距離感を保つことができます。その中から、意味のある人間関係を発見し、それを育てていくことができます。本学の緑溢れる自然や夕焼けの眺望はそのための環境です。大人同士として関係を構築できるかどうかは、社会に出て活躍するためには決定的に重要なことです。

落ち着いた、小規模の、国際的伝統を備えた仙台白百合女子大学で、在学生の皆さんは、意味のある人間関係を築き、友情を育み、将来への準備をすることとなるでしょう。後援会の皆様とともにそのような環境を整えていけたらと思っています。

後援会会長挨拶

仙台白百合女子大学後援会 会長　**佐藤　幸一**

仙台白百合女子大学学生保護者の皆様におかれましては、日頃から後援会活動へのご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。これまでと変わらぬご協力をお願いいたします。

「働き方改革」やAIなどの新技術登場など社会やビジネスシーンの変化が大きく、かつ速い昨今、これまでの知見では想像のつかない新しい時代にこそ、人間としての自主性・自律性が求められており、人間の深い理解と援助を求める仙台白百合女子大学の教育が活かされるものと思います。

私たち仙台白百合女子大学後援会は、在学生保護者・大学教職員との連携を密に一致協力した活動を通じ、学生生活の向上、更には大学発展への寄与・会員相互親睦を図ることを目的として、2011年10月に設立されました。これまでの様々な取り組みにより、新しい時代に対応する学生が成長する場を育むために活動してまいりました。

後援会は保護者と教職員が協力して次の3つの作業部会を基本的活動として展開してきました。

(1)大学連携部会
　大学の奨学金、キャリア支援、学生の課外活動の充実などを支援

(2)事業部会
　保護者向け講演会の開催、卒業記念品贈呈や「白百合祭」参加など後援会独自事業を実施

(3)広報部会
　広報誌発刊、ホームページ制作など

以上の通り、2017年度においても後援会活動を充実させることができたことは、共に活動に取り組んでいただいた各保護者理事と大学関係者のご協力の賜物です。

6月には後援会総会を予定しており、前年度の活動報告および当年度事業計画をお諮りするとともに、ランチを企画しています。また10月予定の『白百合祭』には、模擬店参加の活動を通じ日頃の学生の表情を垣間見る機会となりますので、ご協力をいただければ幸いです。

保護者の皆様には、引き続き後援会活動へのご理解とご協力を賜りますとともに、後援会理事のお引き受けをお願いいたします。

末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

部会活動報告

第7回後援会総会　報告

第7回後援会総会が2017年6月17日（土）に仙台白百合女子大学講堂において開催されました。当日は、約130名の会員の方々にご出席いただきました。

議事に先立ち矢口学長と佐藤後援会長の挨拶がありました。その後、神田教授が議長となり、議案の審議が行われました。議案の2016年度事業報告、収支報告、監査報告、2017年度事業計画、収支予算、理事の選出については、全て原案どおり承認されました。

ご出席いただきました会員の皆様、理事の皆様に心より御礼申し上げます。後援会の皆様におかれましては、今後とも本学の教育活動にご理解とご協力の程よろしくお願いいたします。

（大学連携部会　高橋　千恵子）

大学連携部会活動報告

大学連携部会では、学生への支援の一環として「奨学支援」「課外活動支援」「キャリア支援」を行っています。

奨学支援では、後援会から300万円を支出し、これを大学奨学金と一体運用して、経済的困難学生支援として対象者9名に、東日本大震災授業料減免支援として対象者15名に支援しました。

勉学奨励については、人間発達学科の学生に対し、課外研修、保育実技に関するセミナー、教員採用試験対策に支援補助をしました。心理福祉学科の学生に対しては、課外活動、白百合カフェ、国家試験対策に支援補助をしました。健康栄養学科の学生に対しては、管理栄養士国家試験対策に支援補助をしました。グローバル・スタディーズ学科の学生に対しても各種資格試験検定の受験料を支援補助しました。

課外活動支援では白百合祭に、キャリア支援では、SPI試験対策、公務員試験対策に支援援助しました。これからも大学側と連携をとりながら活動をしていきたいと思います。　（大学連携部会　佐藤　牧子）

事業部会活動報告

講演会を開催致しました。

開催日：2017年6月17日（土）
時　間：第7回後援会総会終了後11：30～12:30
場　所：仙台白百合女子大学　講堂
講　師：仙台白百合女子大学特任教授
　　医学博士　鈴木　裕一　氏
演　題：「ロコモにならないために
　　―骨・筋肉・神経の協働作業を知ろう―」

鈴木裕一氏の講話では老化を上手に迎える専門的なお話しを頂きました。

又、今年度も後援会総会終了後に、保護者様にステラマリス（学生食堂）にて、普段学生が食べていますメニューを無料提供させて頂き、学食体験を行いました。

学食案内を学生さん達が行い保護者の方々へのスムーズな対応にしっかりした教育と社会性が身についていて白百合生らしさが垣間見れました。

（事業部会　釼持　陽子）

広報部会活動報告

広報部会は、後援会の会報「Shirayuri」の発刊、ホームページの更新、保護者向けの講演会の開催・共催を軸に活動しております。

主たる活動の会報は年に一度発刊し、会員の皆様へお届けさせて頂いております。内容としては、会員の皆様よりお預かりしている後援会費の使途として大学行事や各学科へ分配させて頂いており、どのように活用されているのかを掲載しております。それにより、会員の皆様に少しでも後援会活動がご理解頂ければと思っております。

会報の発刊につきましては、大学側からの大きなバックアップにより成り立っており、本年度も無事発刊の運びとなりました。また、後援会の各部会の代表の方・各学科の先生ならびにご協力頂いた学生の皆さん、当大学の学長及び担当された先生方に感謝申し上げます。

尚、ホームページも更新しておりますので、是非、ご覧下さい。　（広報部会　門間　由美）

事業活動報告・課外活動支援報告

白百合祭に参加して

2017年10月28日（土）・29日（日）第52回白百合祭が開催され後援会の一員として二日間チャーハンとドリンク販売の模擬店に参加させいただきました。

チャーハンの販売は四年目となり、定番メニューとして沢山の皆様方から「昨年も食べたよ」「美味しかったよ」と嬉しいお言葉をいただきました。残念なことに29日は大雨によりご購入の際に大変ご迷惑・ご不便をお掛けしたにも関わらずご理解とご協力をいただき本当にありがとうございました。

後援会の白百合祭参加は今年で五回目となり、大変多くの皆様方にご協力いただき昨年以上に盛況のうちに終了いたしました。

また、天候不順にも関わらず売上げにご協力いただきました先生方・学生・地域の皆様方に深く感謝し御礼申し上げます。（事業部会　佐藤　英子）

白百合祭御礼

10月28日、29日に第52回白百合祭が開催されました。両日ともにたくさんのお客様にご来場をいただき、大盛況のうちに幕を閉じることができました。

内容は、毎年恒例のもちまきや学生会によるスタンプラリー、１日目は吉沢亮さん、２日目には客員教授の加藤一二三先生のトークショーなど本学学生をはじめ、お客様方にも楽しい時間を過ごしていただけたと思います。

後援会の皆様方には白百合祭開催に対し、多大なるご支援・ご協力をいただきまして心より感謝を申し上げます。また、企業の皆様、地域の皆様、大学関係者の皆様にも、この場を借りて御礼を申し上げます。（第52回白百合祭実行委員長　星川　茉月）

SGH（スーパーグローバルハイスクール）について

昨年に引き続き「第２回 東北地区スーパーグローバルハイスクール課題研究発表フォーラムin 杜の都」を仙台白百合女子大学の主催で開催することができました。共催は東北大学・宮城大学、後援は東北各地の教育委員会、来賓挨拶は文科省の方よりいただきました。今年は、９校の高等学校が参加し、大勢の高校生が見事な研究成果を発表しました。それに対して３大学からの教員がコメントを加えました。

世界がグローバルな網の目によってつながれ、あらゆる現象が国境を超えて伝播し、影響する時代となりました。地球規模で物事を観察し、考察し、計画し、検証し、解決することを意識せざるを得ません。今回参加した高等学校は、時代の要請に応える先端的な人材育成に取り組んでおり、その教育成果の一端がこの機会に披露されました。ここで得た知見と経験、気付きが生徒の皆さんの今後の人間形成に大きく寄与することを期待してやみません。

2018年度 履修証明プログラム キリスト教教養コース生募集のご案内

本学の建学の精神であるキリスト教を中核的なテーマとして学び、キリスト教にかかわる一定のまとまった教養・知識を理解していただくことを目指してプログラムを作成しました。学生時代に学んだ内容を現在の視点からもう一度見つめ直したい、より深く掘り下げたいなど、幅広いニーズに適した制度です。

出願資格：高等学校を卒業された方、またはこれと同等以上の学力があると認められる方。ただし、女性に限ります。なお、学生の方は履修することはできません。

履修費用：審 査 料　2,000円
受講料一般の方　20,000円
本学卒業生、本学・仙台白百合学園にお子さん・お孫さんが通学している方　10,000円

※出願期間等の詳細についてはお問い合わせください。

問い合わせ先：仙台白百合女子大学教務課
電話　022-374-5026
E-mail　kyomu@sendai-shirayuri.ac.jp

勉学奨励金への感謝

後援会の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私は、小学校教員採用試験での合格を目指して努力して参りました。ところで教員採用試験で出題される範囲は非常に広く、そのために参考書や問題集を複数冊買いそろえなければなりません。後援会からの援助金によって、複数冊の参考書をいただくことができて本当に助かりました。また、自分がどの順位にいるのか、合格までどの程度頑張らなければならないのか、といった手応えを得るためには全国模試を受験する必要があります。後援会の費用をいただけたことで複数回受験することができ、自分が何をすべきなのかしっかり把握することができました。

後援会の支援のおかげで、より一層夢に向かって勉強することができたので、このたび埼玉県で採用の内定を頂けたのだと思います。後援会の皆様には心から感謝申し上げます。今後とも後輩のためにもご支援賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

（人間発達学科　菊地　優花）

補助金事業の御礼

この度、仙台白百合女子大学後援会より国家試験受験対策、学生FD、認知症カフェに補助金を頂き、活動することができましたこと感謝申し上げます。

私は、主に国家試験受験対策で助けて頂きました。国家試験受験対策では、授業で使用しているテキストだけでは足りません。ワークブックを購入したり、過去問集やその他の参考書の購入も必要となります。さらには、夏休み以降の模擬試験受験、対策講座受講などの経費もかかります。しかし、後援会から助成していただいたおかげで、この負担感も軽減されました。その結果、年間のスケジュールを立てて意欲的に勉強することができました。

国家試験受験のための勉強は、孤独です。そのため、後援会の皆さまからの支援は、本当に心強く感じました。多くの皆さまから「頑張れよ」と背中を押して頂いているような気持ちになります。実は、この原稿を書いている週末に本試験があります。後援会の皆さまの温かい気持ちを感じながら頑張ってきたいと思います。

試験に向けて支えていただいてありがとうございました。（心理福祉学科　岸岡　里菜）

管理栄養士国家試験対策講座ご支援について

私たちは、後援会よりご支援していただいている「国家試験対策講座」を受講しております。

対策講座は、国家試験の約１年前から始まり、定期的に行われる佐々木先生の講義、数日間集中して行われる安部先生の講義があります。

この対策講座では、基礎分野から国家試験頻出問題まで理解しやすい板書やスライドおよび参考資料などを使用して分かりやすく丁寧に講義して下さいます。そのため、ポイントをしっかりと押さえ、理解が深まり知識へと繋がっていきます。分からないことや、勉強方法についても相談にのっていただき、効率よく勉強を進めることができます。また、普段の講義とは違った雰囲気も味わうことができるため、自主学習への意欲が高まり、仲間同士で切磋琢磨したりと、日頃から国家試験を意識した生活を送ることができています。

最後になりますが、このような貴重な機会をご支援くださった後援会の皆様、ご指導下さいました先生方へ深く御礼申し上げます。今後とも社会に貢献できる管理栄養士育成のために後輩のためにもご支援のほどよろしくお願い致します。（健康栄養学科　乙供　亜美）

ANAエアラインスクール学内講座・中国語検定への御礼

私は、幼い頃から家族と海外旅行にでかけることがあり、空港や飛行機で活躍している客室乗務員やグランドスタッフに憧れており、ANAエアラインスクールの講座を学内で受講できたことに本当に感謝しています。この講座の魅力は、客室乗務員やグランドスタッフの職業に限らず、就職活動にもとても役立つことです。講師は現役の客室乗務員の方で、社会人の基本的なマナーである挨拶やお辞儀、言葉遣いをはじめ、グループディスカッション・グループ面接の対策等も教えて頂きました。最後には福島空港で実習もさせて頂きました。私はこの講座を受講することで、今後働いていく中で重要な「社会人基礎力」や「接遇力」を学ぶことができました。

また、私は１年生から中国語を学んでおりますが、後援会の補助のおかげで中国語検定を受験し、合格することができました。自分のスキルアップにつながったと思います。

私たちにこれらの貴重な機会を与えて下さった後援会の皆様を始め、ANAビジネスソリューション（株）や先生方、職員の皆様に心より感謝申し上げます。グローバル社会に羽ばたく学生のために今後ともご支援くださいますようよろしくお願い致します。

（グローバル・スタディーズ学科　紺野　亜里沙）

2018(平成30)年度　行事予定

前　期	
4月　3日（火）	入学式（仙台銀行ホールイズミティ21） 後援会入会式・特別講演会・保護者説明会
4月　7日（土）	白百合ウェルカムフェスティバル
4月　9日（月）	前期授業開始日
5月　9日（水）	修養会
6月 16日（土）	後援会総会 1・2年生保護者会
7月 30日（月）	前期授業最終日
後　期	
9月 24日（月）	後期授業開始日（振替休日通常授業）
10月 26日（金）	白百合祭準備（休講）
10月 27日（土） 28日（日）	白百合祭
10月 29日（月）	白百合祭代休
11月 10日（土）	就職に関する保護者懇談会
12月 19日（水）	クリスマスミサ
12月 26日（水）	年内授業最終日
1月　7日（月）	授業再開
1月 21日（月）	後期授業最終日
2月 21日（木）	卒業判定結果掲示
3月 14日（木）	卒業感謝ミサ・同窓会入会式
3月 15日（金）	学位記授与式

仙台白百合女子大学後援会 2017(平成29)年度　理事名簿

	氏　名	担当部会
会　長	佐　藤　幸　一	大学連携部会
副会長	清　水　恵　子	大学連携部会長
副会長	伊　藤　淳　美	事業部会長
監　事	門　間　由　美	広報部会長
監　事	大　友　由　美	広報部会
理　事	伊　藤　啓　子	大学連携部会副部会長
理　事	後　藤　浩　幸	広報部会副部会長
理　事	佐　藤　英　子	事業部会副部会長
理　事	杉　本　美　樹	事業部会
理　事	林　崎　扶美子	広報部会
理　事	佐　藤　牧　子	大学連携部会
理　事	高　橋　英　恵	事業部会
理　事	遠　藤　要　子	大学連携部会
理　事	早　坂　牧　子	事業部会
理　事	安　保　かおる	事業部会
理　事	武　田　光　由	大学連携部会
理　事	張　間　和　彦	広報部会
理　事	釼　持　陽　子	事業部会
理　事	渡　邉　博　子	同窓会長
顧　問	矢　口　洋　生	学長
理　事	槇　石　多希子	大学連携部会/学部長
副会長	横　尾　元　意	事業部会/人間発達学科長
理　事	髙　澤　まき子	事業部会/教学委員会副委員長
理　事	浅　野　浩　子	広報部会/事務局長
理　事	石　岡　宏　美	大学連携部会/事務局次長兼キャリアセンター長
理　事	高　橋　　豊	大学連携部会/事務局次長兼入試広報課長
理　事	堀　籠　未　来	広報部会/学生課長
理　事	佐　藤　啓　朗	事業部会/大学広報室長
理　事	高　橋　千恵子	大学連携部会/庶務課長

編集後記

弥生に入り陽射しが少し柔らかく感じます。皆様のご協力により無事後援会報7号を発行することができ感謝しております。最近の機械化のスピードには驚かされてばかりですが大学の目標である「人間の理解と援助」は人間ならではの感性や人を思いやる調和的な心が育まれてこそと感じ、学園の自然豊かなアットホームな環境は最善だと一保護者として嬉しく思っています。私も後援会のお手伝いをさせて頂きよい機会に恵まれたと感謝しております。是非保護者の皆様も大学に足を運ばれ、お嬢様方と先生方の温かいやりとりや、学ぶ姿をご覧頂けたらと思います。　（広報部会　大友　由美）

仙台白百合女子大学 後援会ホームページ

活動内容が紹介されています。是非、ご覧ください。また、理事を募集しています。お引き受けいただける方は、後援会事務局（庶務課）までご連絡願います。

検索　仙台白百合女子大学　後援会

仙台白百合女子大学 寄付金のお願い

【目　　的】 仙台白百合女子大学の教育・研究環境の整備充実のため

【使　　途】 ① 教育・研究環境の整備
② 奨学資金の充実
経済的理由のため学業継続が困難である優秀な学生への支援
東日本大震災における被災学生の授業料減免支援
留学生支援

ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

検索　仙台白百合女子大学寄付金の募集

後援会より卒業生へ 記念品贈呈

卒業生の皆さまに記念品といたしまして「ふくさ」をプレゼントいたしました。

テ　ー　マ：「キリストはぶどうの木」
設置場所：5号館4階西側テラス
新約聖書「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。」
（ヨハネ15章）

このステンドグラスには、シャルトル・ブルーのガラスが多く使われています。フランス・シャルトル大聖堂の青色のガラスが大変美しいことから、賞賛の意味でシャルトル・ブルーと呼ばれています。青の色はマリア様の色、マリア様の衣の色を意味します。

仙台白百合女子大学後援会

〒981-3107　仙台市泉区本田町6番1号
TEL：022-372-3254
FAX：022-375-4343
E-mail：kouenkai@sendai-shirayuri.ac.jp

この印刷物は、地産地消・輸送マイレージに配慮したライスインキを使用して印刷しています。